

法 令 試 験 問 題

事業者名 及び 受験者氏名		採点	
---------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

- (1) 道路運送法で「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。()
- (2) 貸切バス事業者は、営業区域を変更しようとする場合には、国土交通大臣に届出しなければならない。()
- (3) 事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して1年間保存しなければならない。()
- (4) 事業者は、輸送実績報告を毎年7月31日までに提出しなければならない。()
- (5) 事業者は、事前に届出を行えばその名義を他人に利用させてもよい。()
- (6) 事業者は、認可を受けた運賃の範囲内で運賃を定め、あらかじめその旨を届け出なければならない。()
- (7) 乗車定員11人以上の自動車の使用者は、保有車両3両以上の自動車の使用の本拠ごとに、整備管理者を選任しなければならない。()
- (8) 一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。()

(9) 事業者は、事業用自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。

()

(10) 旅客自動車運送事業者は、いかなる理由があっても試みの使用期間中の者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。

()

(11) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は1週間につき3回が限度である。

()

(12) 事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。

()

(13) 事業者は、安全統括管理者を選任しなければならない。

()

(14) 下記に掲げる項目のなかで、事業者の事業用自動車の運転者、車掌その他の乗務員のしてはならない行為として、法令で定められているものはどれですか。
してはならない事項には×印を、そうでない事項には○印を記入しなさい。

①旅客の現在する事業用自動車内で飲食すること。()

②旅客の現在する事業用自動車内で喫煙すること。()

③運行時刻前に発車すること。()

④旅客の現在する事業用自動車において、その車外へ出ること。()

(15) 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインに関する事項として、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を()内に記入しなさい。

① 地方自治体、学校関係者等の利用者に選定のポイントを示すものであり、旅行業者は対象としていない ()

② バスガイドの可否を、行程検討の際の留意点の一つとしている ()

③ 入札の契約方法として、一般競争入札を勧めている ()

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

- (1) 旅客自動車運送事業者は、() に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。

ア．乗務員 イ．従業員 ウ．運行管理者

- (2) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者ごとに、一定の様式の() を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかなければならない。

ア．履歴書 イ．乗務員証 ウ．乗務員台帳

- (3) 旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任した場合は、当該届出事由の発生した日から() 以内に営業所の所在地を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない。

ア．十日 イ．十五日 ウ．三十日

- (4) 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故を生じた場合は、電話その他適当な方法により、() 以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

ア．十二時間 イ．二十四時間 ウ．四十八時間

- (5) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している() 適切な処置をしなければならない。

ア．運転者のために イ．旅客のために ウ．乗務員のために

- (6) 事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を() により記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。

ア．運行記録計 イ．運行指示書 ウ．乗務記録

- (7) 旅客自動車運送事業者は、その() に対し、省令に掲げる業務的的確な実行及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

ア．乗務員 イ．整備管理者 ウ．運行管理者

(8) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、() に運行指示書を作成する。

ア. 運転者ごと イ. 車両ごと ウ. 運行ごと

(9) 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後 () 以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報であって国土交通大臣が告示で定める事項について、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。

ア. 30日 イ. 3ヶ月 ウ. 100日

(10) 道路運送法は () と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとし、並びに道路運送の分野における利用者の () の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、() を確保し、道路運送の利用者の利益の保護及び利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって () を増進することを目的とする。

ア. 道路交通法	イ. 供給	ウ. 公共の福祉	エ. 道路交通法	オ. 需要
カ. 事業者利益	キ. 道路運送車両法	ク. 旅客の利便	ケ. 貨物利用運送事業法	
コ. 輸送の安全	サ. 性別	シ. 貨物自動車運送事業法	ス. 年齢	

(11) 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が告示で定めるところにより、主として運行する路線又は () の状態及びこれに対処することができる () 並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。この場合においては、その日時、場所及び内容並びに指導監督を行った者及び受けた者を () し、かつ、その記録を営業所において () 保存しなければならない。

ア. 一年間	イ. 三年間	ウ. 五年間	エ. 経路	オ. 交通
カ. 自動車	キ. 教育	ク. 運転者	ケ. 運転技術	コ. 届出
サ. 報告	シ. 記録	ス. 営業区域	セ. 申請	ソ. 運賃料金

【筆記問題】

- (1) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が一年以上の拘禁刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から () を経過していない者であるとき、許可をしてはならない。

答. _____

- (2) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車運送事業の用に供する自動車は () ごとに定期点検整備をしなければならない。

答. _____

- (3) 事業者が省令で定める特別な指導として、初任運転者に対して行う安全運転の実技は何時間以上実施しなければならないか。正しい時間を記載しなさい。

答. _____

法令試験問題 模範解答

事業者名 及び 受験者氏名		採点	
---------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【〇×問題】

次の文章で正しいものに〇印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1点×20=20点

- (1) 道路運送法で「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。(道路運送法第2条)
(〇)
- (2) 貸切バス事業者は、営業区域を変更しようとする場合には、国土交通大臣に届出しなければならない。(道路運送法第15条、施行規則第14条)
(×)
- (3) 事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して1年間保存しなければならない。(運輸規則第3条)
(〇)
- (4) 事業者は、輸送実績報告を毎年7月31日までに提出しなければならない。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)
(×)
- (5) 事業者は、事前に届出を行えばその名義を他人に利用させてもよい。(道路運送法第33条)
(×)
- (6) 事業者は、認可を受けた運賃の範囲内で運賃を定め、あらかじめその旨を届け出なければならない。(道路運送法第9条の2)
(×)
- (7) 乗車定員11人以上の自動車の使用者は、保有車両3両以上の自動車の使用の本拠ごとに、整備管理者を選任しなければならない。(道路運送車両法第50条第1項、道路運送車両法施行規則第31条の3)
(×)
- (8) 一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。(道路運送法第11条)
(〇)

(9) 事業者は、事業用自動車の使用の本拠ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(運輸規則第47条)

(○)

(10) 旅客自動車運送事業者は、いかなる理由があっても試みの使用期間中の者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。(運輸規則第36条)

(×)

(11) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は16時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は1週間につき3回が限度である。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条第3項)

(×)

(12) 事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。(道路運送法第16条)

(○)

(13) 事業者は、安全統括管理者を選任しなければならない。(道路運送法第22条の2)

(○)

(14) 下記に掲げる項目のなかで、事業者の事業用自動車の運転者、車掌その他の乗務員のしてはならない行為として、法令で定められているものはどれですか。

してはならない事項には×印を、そうでない事項には○印を記入しなさい。(運輸規則第49条)

① 旅客の現在する事業用自動車内で飲食すること。 (○)

② 旅客の現在する事業用自動車内で喫煙すること。 (×)

③ 運行時刻前に発車すること。 (×)

④ 旅客の現在する事業用自動車において、その車外へ出ること。 (○)

(15) 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインに関する事項として、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を () 内に記入しなさい。

(輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン I.1 (1)、II.2.⑥、II.4. (3)、)

① 地方自治体、学校関係者等の利用者に選定のポイントを示すものであり、旅行業者は対象としていない (×)

② バスガイドの要否を、行程検討の際の留意点の一つとしている (○)

③ 入札の契約方法として、一般競争入札を勧めている (×)

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1点×17＝17点

- (1) 旅客自動車運送事業者は、(イ) に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。(運輸規則第2条)

ア. 乗務員 イ. 従業員 ウ. 運行管理者

- (2) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者ごとに、一定の様式の(ウ)を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかなければならない。(運輸規則第37条1項)

ア. 履歴書 イ. 乗務員証 ウ. 乗務員台帳

- (3) 旅客自動車運送事業者は、運行管理者を選任した場合は、当該届出事由の発生した日から(イ)以内に営業所の所在地を管轄する運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない。(運輸規則第68条)

ア. 十日 イ. 十五日 ウ. 三十日

- (4) 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故を生じた場合は、電話その他適当な方法により、(イ)以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。(事故報告規則第4条)

ア. 十二時間 イ. 二十四時間 ウ. 四十八時間

- (5) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している(イ)適切な処置をしなければならない。(運輸規則第18条)

ア. 運転者のために イ. 旅客のために ウ. 乗務員のために

- (6) 事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を(ア)により記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。(運輸規則第26条)

ア. 運行記録計 イ. 運行指示書 ウ. 乗務記録

- (7) 旅客自動車運送事業者は、その(ウ)に対し、省令に掲げる業務の的確な実行及び運行管理規程の遵守について適切な指導監督をしなければならない。(運輸規則第48条の3)

ア. 乗務員 イ. 整備管理者 ウ. 運行管理者

- (8) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、(ウ) に運行指示書を作成する。(運輸規則 28 条の 2)

ア. 運転者ごと イ. 車両ごと ウ. 運行ごと

- (9) 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後 (ウ) 以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報であって国土交通大臣が告示で定める事項について、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。(運輸規則第 47 条の 7)

ア. 30 日 イ. 3 ヶ月 ウ. 100 日

- (10) 道路運送法は (シ) と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとし、並びに道路運送の分野における利用者の (オ) の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、(コ) を確保し、道路運送の利用者の利益の保護及び利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって (ウ) を増進することを目的とする。(道路運送法第 1 条)

ア. 道路交通法	イ. 供給	ウ. 公共の福祉	エ. 道路交通法	オ. 需要
カ. 事業者利益	キ. 道路運送車両法	ク. 旅客の利便	ケ. 貨物利用運送事業法	
コ. 輸送の安全	サ. 性別	シ. 貨物自動車運送事業法	ス. 年齢	

- (11) 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が告示で定めるところにより、主として運行する路線又は (ス) の状態及びこれに対処することができる (ケ) 並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。この場合においては、その日時、場所及び内容並びに指導監督を行った者及び受けた者を (シ) し、かつ、その記録を営業所において (イ) 保存しなければならない。(運輸規則第 38 条)

ア. 一年間	イ. 三年間	ウ. 五年間	エ. 経路	オ. 交通
カ. 自動車	キ. 教育	ク. 運転者	ケ. 運転技術	コ. 届出
サ. 報告	シ. 記録	ス. 営業区域	セ. 申請	ソ. 運賃料金

【筆記問題】

1 点 × 3 = 3 点

- (1) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が一年以上の拘禁刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から () を経過してない者であるとき、許可をしてはならない。(道路運送法第7条)

答. 5 年

- (2) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車運送事業の用に供する自動車は () ごとに定期点検整備をしなければならない。(道路運送車両法第48条)

答. 3 ヶ月

- (3) 事業者が省令で定める特別な指導として、初任運転者に対して行う安全運転の実技は何時間以上実施しなければならないか。正しい時間を記載しなさい。(旅客自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針第2章2)

答. 20 時間